

# 第46回「中学生の主張富山県大会」発表者

<p>あらい さきえ</p> <p><b>荒井 咲恵</b></p>	<p>南砺市立南砺つばき学舎</p> <p>8年</p> <p>南砺から世界へ</p>	<p>発表順</p>	
<p>概要</p>	<p>私の住んでいる南砺市には、地方に数少ないアニメの制作会社があります。地元を舞台にした作品が多数あるにもかかわらず、あまり知られていないのはとてももったいないことだと思います。そこで、地域の強みを活かした魅力的な地域づくりについて、中学生の視点から提案します。あらゆる世代が力を合わせ、大好きなアニメの力を借りて地域の魅力を発信すれば、世界中から人が集まる魅力的な場所になることを力強く主張したいです。</p>		
<p>いとう あき</p> <p><b>伊藤 亜姫</b></p>	<p>富山市立八尾中学校</p> <p>2年</p> <p>見方と対応を考えて</p>	<p>発表順</p>	
<p>概要</p>	<p>私は発達障害の兄のことで悩みをもっていた。それは家族で外出する時に兄に向けられる視線である。ある日、兄が行方不明になったことで兄に対する不満の気持ちが増していった。しかし、兄には兄のことをよく理解してくれている友達とデイサービスの職員の方々という大切な存在があり、それを心の寄り所にして今まで生活できていたことに気付いた。私たちが人権を守るためにできることは何なのだろうか。</p>		
<p>いまい さきな</p> <p><b>今井 咲希奈</b></p>	<p>高岡市立戸出中学校</p> <p>2年</p> <p>奇跡を起こす子 夢を紡ぐ</p>	<p>発表順</p>	
<p>概要</p>	<p>私には、看護師になりたいという夢があります。検査や入院のたびに不安になりますが看護師さんのおかげで不安が薄らいで笑顔になれるからです。患者さんとその家族の心に寄り添って、その支えになりたい。完治しない疾患がある私ですが、自分の可能性を信じ一步一步、夢を紡いでいきたいと思います。</p>		
<p>せりはら さら</p> <p><b>芹原 沙來</b></p>	<p>高岡市立志貴野中学校</p> <p>3年</p> <p>地域防災と女性視点</p>	<p>発表順</p>	
<p>概要</p>	<p>令和6年元旦、石川県を襲った地震は、富山県にも大きな被害をもたらしました。大切な命を守るために、地域の一員として、家族の一員として何ができるのかを考える中、女性視点に立った防災についての様々な試みがあることを知りました。中学生として、できることは限られるかもしれませんが、まずは、自分ができることから実行していきたいと思います。</p>		
<p>なかしま はるな</p> <p><b>中島 陽菜</b></p>	<p>砺波市立庄川中学校</p> <p>3年</p> <p>「継続は力なり」</p>	<p>発表順</p>	
<p>概要</p>	<p>私は、駅伝練習に参加して、自分は走ることが好きだということに気が付きました。自分の好きなことを見つけられることは、幸せなことです。そして、その目標を持ち続けて努力し、達成することができるとは、もっと幸せなことです。好きなことを見つけたら、目標を言葉にして表しましょう。「継続は力なり」です。ひたむきにがんばることの大切さを忘れずに、私はこれからも走ります。</p>		

<p>ふじ みつき</p> <p><b>藤 美月</b></p>	<p>高岡市立芳野中学校</p> <p>3年</p>	<p>発表順</p>	
<p>私を変えてくれたこと</p>			
<p>概要</p>	<p>私のコンプレックスは歯並びの悪さだ。矯正をすれば、憧れていた吹奏楽はできないと言われた。歯並びを気にしてうまく笑えず、写真も嫌いになった。そんな自分も嫌になった。しかし、自分と同じように歯並びの悪さをコンプレックスだと感じている人に出会い、矯正することを決めたら前向きな気持ちになってきた。今だけの自分を楽しみたい。そして、成人式では家族にとびきりの笑顔を見せたい。</p>		
<p>みつい ゆき</p> <p><b>三井 結葵</b></p>	<p>高岡市立芳野中学校</p> <p>3年</p>	<p>発表順</p>	
<p>住めば都と思えば</p>			
<p>概要</p>	<p>私は、これまで5回の引っ越しを経験した。2022年、5回目の引っ越しで富山にやってきた。列車が少なく冬は雪が降る。方言のせいでうまく会話ができない。不安や寂しさで東京が恋しくなった。しかし、地域の祭りに行ったり、方言を教えてもらったりするうちに富山の魅力に気が付き始めた。これからの人生においても、環境の変化を前向きにとらえ、私らしく生きていきたい。</p>		
<p>やすい としき</p> <p><b>安井 俊貴</b></p>	<p>高岡市立牧野中学校</p> <p>3年</p>	<p>発表順</p>	
<p>自信をもって伝えるために</p>			
<p>概要</p>	<p>吃音症は、人前で話すときに言葉がつかえて、吃ってしまう言語障害だ。一度吃ると続けて吃ってしまう悪循環に陥ることもあり、僕もこれまで恥ずかしい思いや悔しい思いを何度も味わってきた。ところが、今年に入って症状が少しずつ改善してきた。思い当たるのは、自分の吃音に対して吹っ切れたことだ。僕と同じような悩みを抱える他の人も、自信をもって意見を伝えられる方法はないか、僕が考えたことを伝えたい。</p>		
<p>やまざき まさる</p> <p><b>山崎 優</b></p>	<p>南砺市立平中学校</p> <p>2年</p>	<p>発表順</p>	
<p>酒造りに挑む</p>			
<p>概要</p>	<p>日本の文化とは切っても切れない深い関係にある液体「日本酒」。僕の家はその日本酒を醸造している「三笑楽」酒造です。五箇山の厳しい自然に鍛えられた水と米を使って造られるお酒は、神様への供物として磨き上げられてきました。より美味しいお酒を造るために、日々工夫を重ねている酒造りの実際と未来についてお話しします。</p>		
<p>やまもと こうたろう</p> <p><b>山本 耕太郎</b></p>	<p>高岡市立牧野中学校</p> <p>3年</p>	<p>発表順</p>	
<p>すべての人が平等に</p>			
<p>概要</p>	<p>過呼吸やメンタルの不調を抱えながら、命がけで母は僕を生んでくれた。理解や協力を十分得られたとは言い難い環境で産後も苦労した話を聞いたとき、僕は不公平なものの見方や考え方に対する憤りを感じた。一方で、「14歳の挑戦」での活動やJICAの訪問を通して、「誰ひとり取り残さない」という姿勢こそ、これからの社会に必要な姿勢だと考えるようになった。攻撃でなく、互いを認め合い支え合うことの大切さを訴えたい。</p>		